

単元名 5 論理を捉えて 一立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 配当時間 4時間

単元の目標 (1) 説得力のある根拠と共に、意見をまとめることができる。  
(2) 地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめることができる。  
互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話すことができる。  
(3) 進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとする。

### 標準的な展開例

11210213\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 討論のテーマを決め、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題を確認する。</li> <li>★ 討論のテーマを決めよう。</li> <li>○ 地域や社会で話題になっていることの中から、討論したいテーマを探す。</li> <li>○ 賛成・反対の立場を決める前に、広く情報を集め、整理する。</li> </ul> <p>2 立場を決めて、考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題を確認する。</li> <li>★ 立場を決めて、考えをまとめよう。</li> <li>○ 前時の情報を踏まえて、自分の立場を決め、意見と根拠をまとめる。</li> <li>○ 異なる立場の人の考えを予想し、それに対する答えを考える。</li> </ul> <p>3 グループで討論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題を確認する。</li> <li>★ グループで討論しよう。</li> <li>○ 「討論する」(p.142)を参考に、討論の流れや意見の伝え方、質問の仕方を確認する。</li> <li>○ 討論するグループを作る。</li> <li>○ 討論する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマを確認し、一人ずつ意見を述べる。</li> <li>・ 立場を意識して、討論する。</li> <li>・ 一人ずつまとめの発言をし、司会が結論をまとめる。</li> </ul> </li> </ul> <p>4 討論を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題を確認する。</li> <li>★ 討論を振り返ろう。</li> <li>○ 前時とは違うグループでもう一度討論する。</li> <li>○ 討論を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 討論による考えの深まりや広がりについて伝え合う。</li> </ul> </li> <li>○ 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 客観性の高い根拠を基に考えをまとめたか。</li> <li>・ 討論をするときに、どのようなことに気を付けたか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「テーマ例」(p.140)から賛否や是非の分かれるものを選ばせるとよい。</li> <li>【評】 情報を集め、整理する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 「根拠の吟味」(p.132)を参考にさせる。</li> <li>【評】 自分の意見をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 「根拠の適切さを考えて書こう」(p.134), 「異なる立場から考える」(p.139)を参考にさせる。</li> <li>・ DVDや二次元コードを活用してもよい。</li> <li>・ 司会者1名、各立場(賛成・反対)の人2, 3人のグループを作らせる。</li> <li>・ 討論は、本時と次時で2回行うことを伝え、できるだけ司会者と討論する側の両方を経験させるようにする。</li> <li>【評】 討論をする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 前時で司会者をした人が討論する側になるよう配慮する。</li> <li>【評】 討論をする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 討論のメモを残すことで、互いの考えの共通点や相違点を視覚化して振り返ることもできる。</li> <li>・ 「つなぐ」(p.141)を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</li> <li>【評】 学習を振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

### 【 備 考 】

社会生活で求められる表現は、多くの場合、自らの立場と、そのような立場に立つ根拠を明確にした表現である。この単元では、根拠の働きに注目して、論理的な表現のあり方について学ぶことを目的とする。

また、論理的な表現では、一方的に自分の意見を述べるのではなく、他者の立場も尊重することで、多様な考え方に触れることができる。また立場の違う考え方からの反論を予想することで、論理に深みが増し、説得力も高まる。根拠の確かさとともに、そうした視点からも、論理の展開のしかたを確認させたい。

討論会は、いろいろな立場の考え方を知ること、自分の考えを深めたり、広めたりすることに役立つ。それは、自身の言語能力を高め、今後の学級・学校での話し合いに活用することができるであろう。また、「根拠の適切さを考えて書こう」では、文章構成を学ぶ。自分の立場を最初に述べ、意見や根拠を述べていくことも、話し合いや意見文を書くには必要なことである。